



MINI DISCLOSURE 2017

平成29年3月期 事業のご報告

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

ごあいさつ



取締役社長
寺門 一義

取締役副社長
松下 正直

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、平成28年度のわが国経済は、英国のEU離脱問題や米国の大統領選など海外の政治的要素の影響を強く受けたものの、企業の生産活動や輸出に持ち直しの動きがみられるなど、総じて緩やかな景気回復基調が続きました。当社グループの主要営業地盤である北関東地域においても、年度後半にかけて企業の生産活動や個人消費に持ち直しの動きがみられるなど、景気は緩やかな回復基調が続きました。

このような環境のもと、常陽銀行と足利ホールディングスは、平成28年10月1日に株式交換による経営統合をおこない、「質の高い総合金融サービスの提供を通じ、地域とともに、ゆたかな未来を創り続けます。」をグループ経営理念として掲げ、株式会社めぶきフィナンシャルグループとして新たにスタートいたしました。経営統合に伴い、当社グループは、目指す姿を「地域の未来を創造する総合金融サービスグループ」とする第1次グループ中期経営計画（平成28年10月1日～平成31年3月31日）を策定し、統合シナジーの早期発現に向けた諸施策を展開しております。引き続き地域の課題解決に主体的に取り組み、当社の主要子会社である常陽銀行・足利銀行が永年にわたって築いてきたお客さま、地域とのリレーションを深化させながら、互いの経営資源やノウハウを融合し、グループが一丸となって統合シナジーのさらなる発現を目指してまいります。

今後とも、お客さま、地域の皆さま、株主の皆さまのご期待にお応えできるよう、グループ役職員一同全力を尽くしてまいります。引き続き一層のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成29年6月吉日

株式会社めぶきフィナンシャルグループ

取締役社長 寺門 一義
取締役副社長 松下 正直

めぶきフィナンシャルグループについて

社名

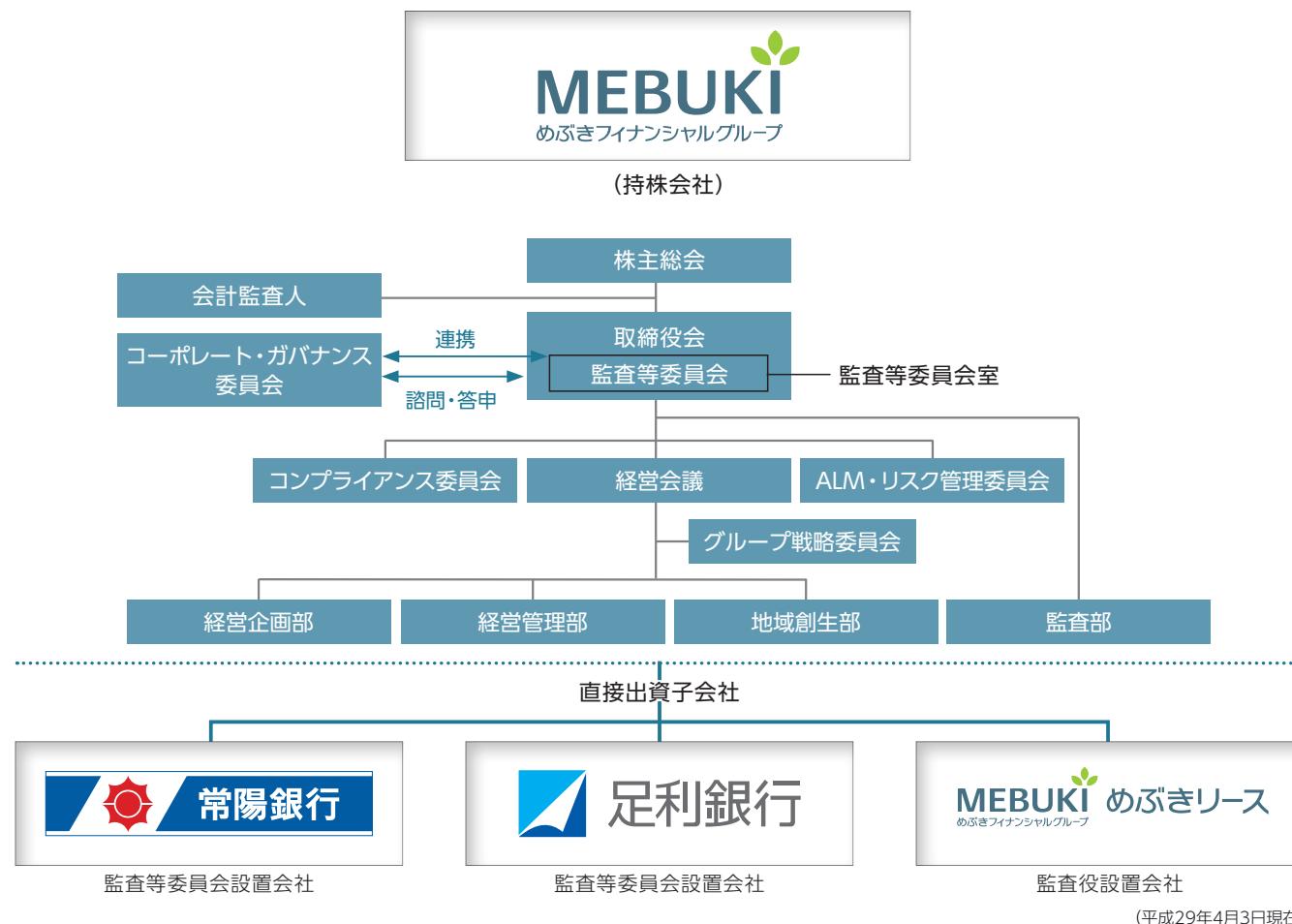
株式会社めぶきフィナンシャルグループ

[英文名称] Mebuki Financial Group, Inc.

社名に込めた思い

「めぶき(芽吹き)」は「樹木の新芽が出始めること」を意味し、グループ各社の知見と創意を結集させることにより、瑞々しい発想や新しい価値が次々と生み出される様を「めぶき」という言葉で表現し、グループ名称に用いています。社名には、地域に新たな価値と活力を芽吹かせ、地域とともに持続的成長を実現していく思いを込めています。

組織図



グループ経営理念

質の高い総合金融サービスの提供を通じ、
地域とともに、ゆたかな未来を創り続けます。

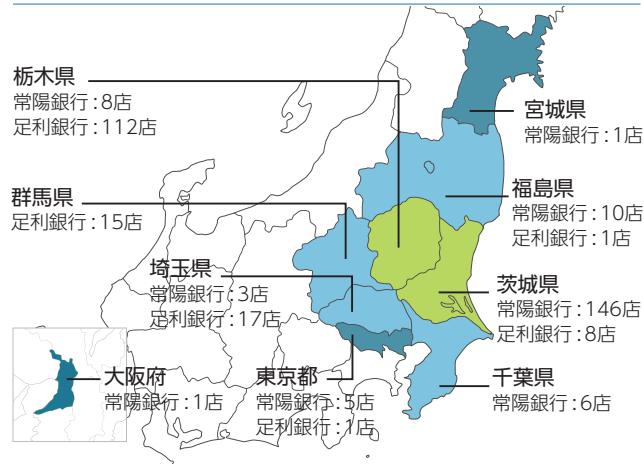
グループの創意を結集し、地域の持続的成長に貢献します。

質の高い総合金融サービスの提供により、地域社会の課題解決を図り、地域とともにゆたかな未来を創造します。

株式会社 めぶきフィナンシャルグループ (平成29年3月31日現在)

本店所在地	東京都中央区八重洲二丁目7番2号
本社所在地	[水戸本社] 茨城県水戸市南町二丁目5番5号 [宇都宮本社] 栃木県宇都宮市桜四丁目1番25号
資本金	1,174億円
設立日	平成20年4月1日 (平成28年10月1日商号変更)
上場証券取引所	東京証券取引所
従業員数	123名
格付	A (格付投資情報センター)

店舗網 国内:334店 海外:4か所 (平成29年3月31日現在)



株式会社 常陽銀行 (平成29年3月31日現在)

創立	1935年 (昭和10年) 7月30日
本店	茨城県水戸市南町二丁目5番5号
資本金	851億円
店舗数	国内: 180店 (本支店151、出張所29) 海外: 3駐在員事務所 (上海、シンガポール、ニューヨーク)
従業員数*	3,281名
格付	A+ (格付投資情報センター) A2 (ムーディーズ)

株式会社 足利銀行 (平成29年3月31日現在)

創立	1895年 (明治28年) 10月1日
本店	栃木県宇都宮市桜四丁目1番25号
資本金	1,350億円
店舗数	国内: 154店 (本支店105、出張所49) 海外: 1駐在員事務所 (香港)
従業員数*	2,801名
格付	A+ (格付投資情報センター)

* 従業員数は外部への出向者等を除きます。

グループの目指す姿 (戦略目標)

地域の未来を創造する総合金融サービスグループ

当社グループは、両行が培ってきたお客さま、地域とのリレーション、地域への深い理解を維持・深化しつつ、広域ネットワークを活用した経済交流圏域の広がり追求、総合金融サービスの規模・範囲の拡大を図り、「地域産業の掘り起し、地域経済の活性化や新たな市場創造」に取り組み、地域とともに成長を目指します。

グループ理念の構造 (=グループの活動のもととなる基本的な考え方)

ミッション	地域と共に 発展・成長し、地域に貢献する			
ビジョン	「開かれた」金融グループとして、事業エリア・領域・規模の拡大を進めていく			
成長 ドライバー	ネットワークの活用による 地域経済の拡大 中央の大企業を含む広域の ネットワークを活用した商流・ 情報流・企業間交流の加速と 拡張	先進的サービスの 開発・提供 ITの活用、他業態との 連携等による先 進的な金融サービ スの開発・提供	統合による 収益基盤の強化 オペレーションの効 率化と経営資源の戦 略的シフトによる強 固な収益基盤の構築	プロフェッショナル 人材の育成 多様で高度な金融エー ズに対応でき、且つ、地 域の事情に精通したプロ フェッショナルを育成
バリュー	リース・証券・シンクタンク・ITサービスを含んだワンストップ総合金融サービス			
事業基盤	地域との強固な信頼関係・地域シェアトップの地域金融機関			

目指す姿の実現に向けた計画

第1次中期経営計画

平成28年度下期 ~ 平成30年度

グループを軌道に乗せ成功へと導く期間

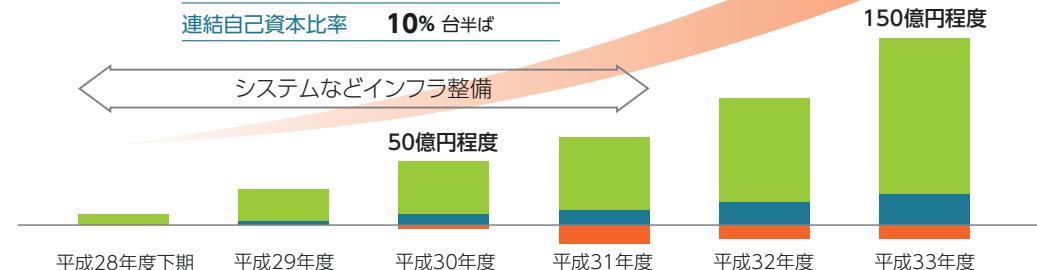
	平成30年度
連結当期純利益	470 億円程度
連結ROE	5% 以上
連結自己資本比率	10% 台半ば

第2次中期経営計画

平成31年度 ~ 平成33年度

本格的な成果の実現・次なる成長への転換期間

	(参考)平成33年度
連結当期純利益	640 億円程度
連結ROE	6% 以上
連結自己資本比率	10.5% 以上



【目指す姿】

地域の未来を
創造する
総合金融サービス
グループ

■ トップラインシナジー*
■ 経費削減シナジー
■ 逆シナジー

[システム移行費用(うち初期費用は平成36年度償却終了)]

* トップラインシナジー: トップライン増加に伴い増加する費用は控除しています。

統合施策

「第1回めぶきビジネスアワード」の開催

地域に潜在する革新的・創造的な事業プランを表彰する「第1回めぶきビジネスアワード」を実施しました。

これまで常陽銀行、足利銀行がそれぞれ開催していたビジネスコンテストを統合し、両行の広域な営業エリアに潜在する事業プランを募集しました。

今回は、ものづくりなどの「成長分野」や「地方創生」の取り組み、地域のしごと創出につながる「創業分野」など8つの事業分野をテーマに事業プランを募集し、646件の応募プランから28プランを表彰しました。



地域産品応援プロジェクト実施



めぶきフィナンシャルグループ発足後、常陽銀行と足利銀行の初の連携イベントとして、食関連事業者の商品開発から販路拡大までを支援する「おいしさ向上品評会in水戸」と「おいしさつながるフードフェスタin宇都宮」を開催しました。

「おいしさ向上品評会in水戸」では、約100社の食関連事業者が自社商品を展示し、外国人留学生や日本人学生、ビジネスマン、主婦等に試食・インタビュー形式で商品評価をしていただきました。評価結果は、商品開発やテストマーケティングに活用いただけるよう出展社へ還元しました。

また、「おいしさつながるフードフェスタin宇都宮」では、約330社の食関連事業者が出展し、多数のバイヤーとの商談が活発に行われ、地元食関連事業者の販路拡大に向けた支援を行いました。

「めぶきFG ものづくり企業フォーラム2017」の開催

平成29年2月、ものづくり企業の事業拡大を目的として、ものづくり企業フォーラムを初めて開催しました。850社、約2,000名の方にご来場いただき、314社のパネル展示ブースで活発な商談が行われました。また、255社を掲載した技術提案書をもとに390件の商談を実施したほか、ドイツと台湾の企業・研究機関に出展いただくなど、地域のものづくり企業の販路開拓や事業拡大を支援しました。



ベトナム・ハノイにおける「ものづくり商談会」「ビジネス交流会」の開催

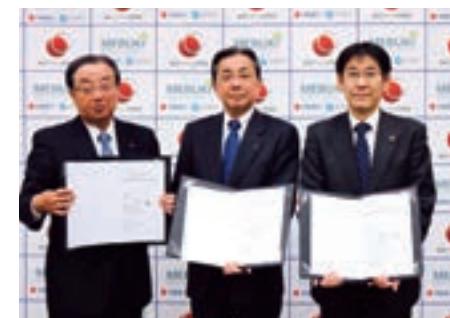


平成29年2月、ベトナムにおける部材の調達や自社製品等の販路拡大を希望する企業を対象に「FBC ハノイ 2017 ものづくり商談会」ならびに「ハノイビジネス交流会2017」を開催しました。

ベトナムで初めて開催したものづくり商談会では、出展企業間のほか、出展企業と来場した現地企業や在ベトナム日系企業などとの間で活発な商談や情報交換が行われました。また、ビジネス交流会では、現地ビジネスに関する情報交換が積極的に行われるなど、お取引先の海外販路拡大や現地でのネットワーク構築等につながる場を提供しました。

「めぶき地域創生ファンド」を活用した資金供給

平成28年11月、地域創生に向けた取り組みの一環として、常陽銀行と足利銀行は、損害保険ジャパン日本興亜株式会社との共同出資により、「めぶき地域創生ファンド」（ファンド規模20億円）を組成しました。本ファンドを通じて、地域の「食・農・観光」分野の振興に資する事業者4社に計12億円の支援を行いました。今後とも、地域内交流人口の増加やインバウンド需要の拡大等を金融面から支援してまいります。



人材交流



経営統合における早期シナジー効果発揮と企業文化融合、相互理解の深化、行員のスキルアップや地域の事情に精通した人材の育成を目的として、常陽銀行と足利銀行間の人材交流を実施しています。

各役職別に開催している「合同研修会」に平成28年度は両行合わせて約500名が参加したほか、平成29年度からは、両行間での相互人材派遣を開始しています。

また、営業店における連携を図るため、両行の営業エリアが重複する10地域に「めぶき地域連携会議」を設置し、両行間における協調融資案件やお客さまの紹介等に積極的に取り組んでいます。

業績ハイライト (平成29年3月期)



平成28年度	FG連結	業績予想比	業績予想
経常利益	522	98.5%	530
親会社株主に帰属する当期純利益	1,584	102.2%	1,550
自己資本比率	10.62%	—	—

経常収益は2,132億円となり、経常費用は1,610億円となりました。この結果、経常利益は522億円となりました。

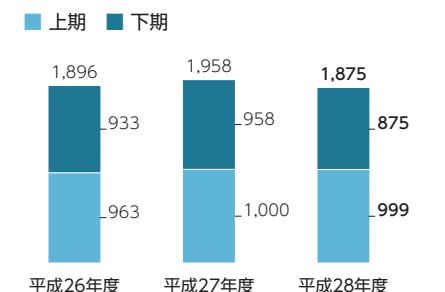
また、企業結合による負ののれん発生益1,192億円を特別利益に計上したことなどにより、親会社株主に帰属する当期純利益は1,584億円となりました。連結自己資本比率は10.62%となりました。

(ご参考) 2行合算・常陽銀行・足利銀行の実績 (単位：億円)

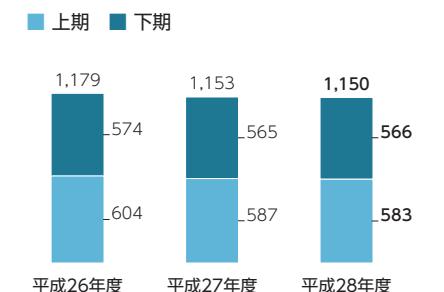
	2行合算		平成28年度 常陽銀行		足利銀行	
	実績	前年度比	実績	前年度比	実績	前年度比
業務粗利益	1,875	△83	1,052	△62	823	△20
資金利益	1,534	△44	851	△46	682	+1
役員取引等利益	276	△27	143	△11	132	△16
その他業務利益他 (うち国債等債券損益)	63	△10	56	△4	7	△5
経費	1,150	△2	685	+2	464	△5
うち人件費	604	+0	347	△2	257	+3
うち物件費	470	△13	295	△0	175	△13
実質業務純益	725	△80	367	△65	358	△15
コア業務純益	669	△51	308	△47	360	△4
一般貸倒引当金繰入額(a)	△4	+2	△6	+0	1	+1
業務純益	730	△82	373	△65	356	△17
臨時損益	△40	△53	△17	△4	△23	△48
うち不良債権処理額(b)	100	+48	54	△0	45	+48
うち株式等関係損益	97	+25	75	+28	21	△3
経常利益	689	△136	356	△70	332	△65
特別損益	△21	△10	△8	△1	△13	△9
当期純利益	508	△77	244	△33	264	△44
信用コスト (a)+(b)	95	+50	47	△0	47	+50

2行単純合算

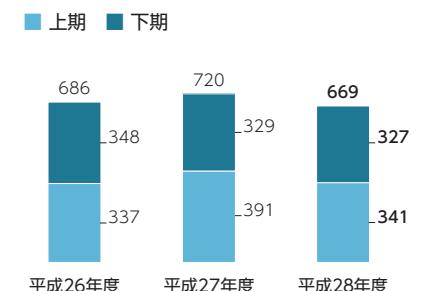
業務粗利益 (単位：億円)



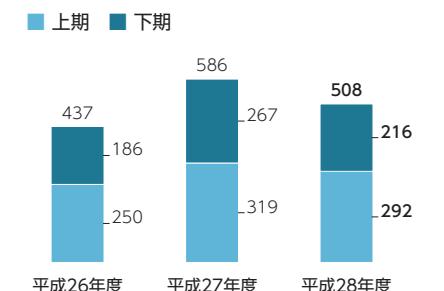
経費 (単位：億円)



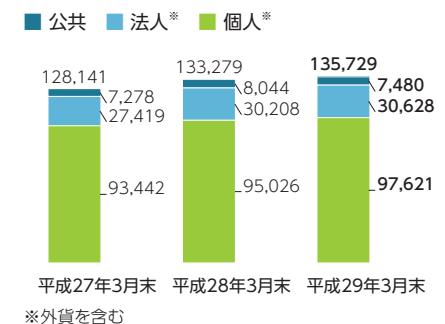
コア業務純益 (単位：億円)



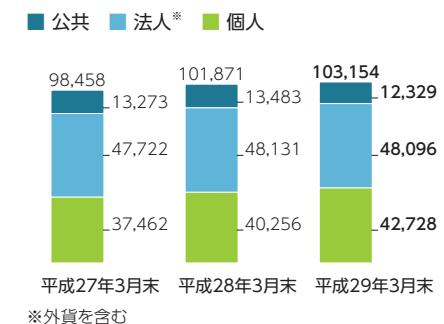
当期純利益 (単位：億円)



預金残高 (単位：億円)



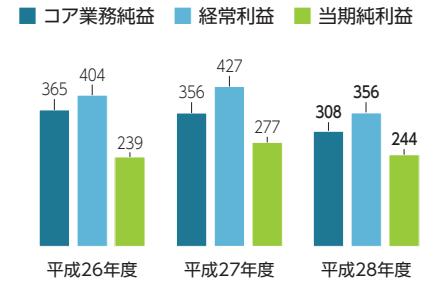
貸出金残高 (単位：億円)



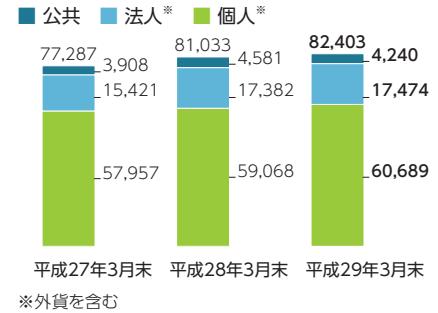
業績ハイライト (平成29年3月期 単体)



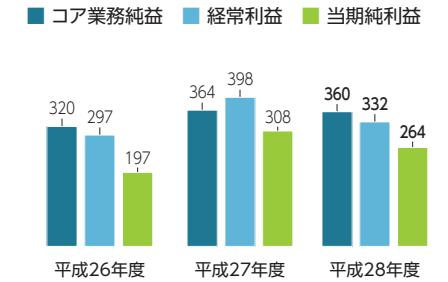
収益の状況 (単位：億円)



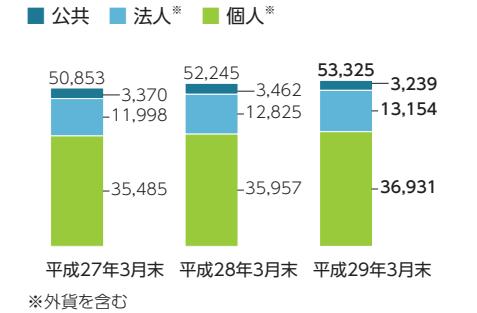
預金残高 (単位：億円)



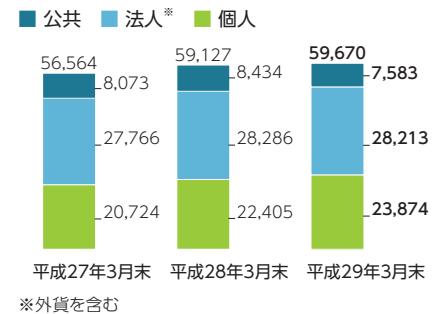
収益の状況 (単位：億円)



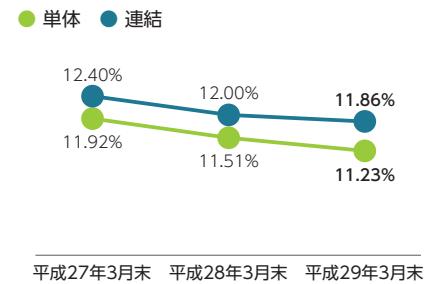
預金残高 (単位：億円)



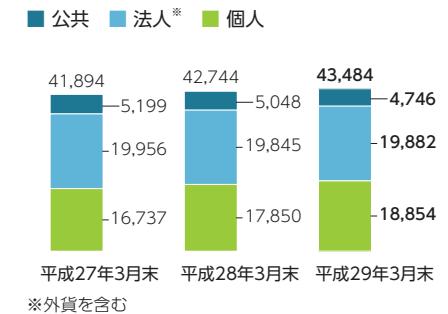
貸出金残高 (単位：億円)



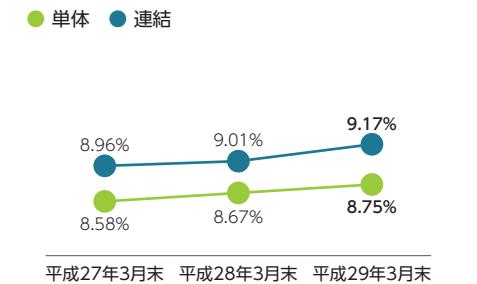
自己資本比率の状況



貸出金残高 (単位：億円)



自己資本比率の状況



〈茨城県内の常陽銀行と足利銀行の合算シェア〉

預金・貸出金ともに、茨城県内で高いシェアを確保しています。



(金融ジャーナル2016.12増刊号より作成)

〈栃木県内の常陽銀行と足利銀行の合算シェア〉

預金・貸出金ともに、栃木県内で高いシェアを確保しています。



(金融ジャーナル2016.12増刊号より作成)

CSRへの取り組み

めぶきフィナンシャルグループは、CSRへの取り組みが「持続可能な地域社会の実現」に貢献するものであり、さらにはめぶきフィナンシャルグループ自体の持続・永続的な発展につながるものと考え、CSRを行動の基軸に位置づけ、グループ役職員が一体となり当事者意識を持って取り組んでまいります。

3つの重点課題

環境

経済

社会

● 公益信託「エコーいばらき」環境保全基金



茨城県内で環境保全に取り組む団体などに対して助成を行っています。平成28年度は、「東海村立白方小学校」の環境保全活動の取り組みを含め、97先に助成金(994万円)を贈呈しました。

本基金は、平成4年、常陽銀行と損害保険ジャパン日本興亜株式会社により共同で設立。毎年、助成希望者を募集し、運営委員会で審議・選定のうえ助成しているものです。

● 「常陽銀行で学ぶマナー&マナー～留学生応援セミナー～」の開催

平成28年10月、茨城県内の大学に留学している学生を対象に、「常陽銀行で学ぶマナー&マナー～留学生応援セミナー～」を開催しました。本セミナーは、茨城県の「いばらきグローバル化推進計画」に基づき企画したものです。留学生20名に、常陽史料館で日本の貨幣の歴史や、日本での就職に役立つ敬語の使い方などのビジネスマナーを紹介しました。また、外国人行員が日本企業での働き方について、アドバイスをしました。



● 「常陽 食品加工技術商談会 2017『デコ・ポコ マッチング』」の開催



平成29年2月、食品事業者に対する新商品開発支援、農業生産者の6次産業化支援、および参加者間の相互交流等を目的に「常陽 食品加工技術商談会2017『デコ・ポコ マッチング』」を開催しました。本商談会では、「ジュース加工」や「燻製加工」、「ジャム加工」などの食品加工技術を有する事業者21社が出展、新商品開発意欲を有する農業生産者やオリジナル商品の製造を希望する外食産業等、約200名が来場し、積極的な商談が行われました。



● プルタブのリサイクル収集で車椅子を寄贈



平成29年4月、足利銀行グループの役職員による社会貢献活動「YOU-I」運動において、平成15年から13年かけて集め続けたプルタブがついに車椅子1台分(約160万個/812kg)となり、栃木県立岡本台病院へ寄贈しました。

「空き缶散乱公害をなくす」という一般社団法人環公害防止連絡協議会の趣旨に賛同した取り組みであり、小さな積み重ねが心のこもった1台に繋がりました。

● 「あしぎんpresentsめぶきフィナンシャルグループマッチデー」の開催

平成29年1月、日光霧降アイスアリーナにおいて、足利銀行がユニフォームスポンサーをつとめる「H.C.栃木日光アイスバックス」の冠試合を、「あしぎんpresentsめぶきフィナンシャルグループマッチデー」として開催しました。

地域のスポーツ振興の活性化を支援するため、地元スポーツクラブを応援しています。

- ・栃木SC(サッカークラブ)…………… オフィシャルパートナー
- ・宇都宮ブリッツェン…………… オフィシャルユニフォームスポンサー
- ・栃木ゴールデンブレーブス…………… ゴールドスポンサー



● 観光産業支援を目的とした「留学生による魅力発見プロジェクト」の開催



平成28年10月、足利市、足利市観光協会、宇都宮大学との協同により、足利観光における「留学生による魅力発見プロジェクト」を開催しました。

中国やドイツ、ベトナム等からの留学生20人が、足利学校や鑊阿寺、あしかがフラワーパークなどの観光スポットを巡り、藍染め等を体験。“今後の足利観光をより良いものにする”ための改善点を発表・提案し、宇都宮大学の准教授や観光協会担当者の見解等も交えた積極的な意見交換を行いました。

環境

地域に密着した総合金融グループとして、健やかで美しい環境を未来に伝える取り組み

社会

安全・安心なまちづくりや次世代教育に資する取り組み

経済

活力に満ちた地域づくりや企業活動を助成する取り組み

株主の皆さまへ

配当政策

グループとしての成長に向けた資本の確保と株主さまへの適切な利益還元のパランスを考慮し、安定配当を目指します。

平成28年度の期末配当につきましては、1株当たり6円50銭の配当(経営統合記念配当1円を含む)を実施いたしました。

平成29年度の配当につきましては、上記方針に則り、1株当たり年間配当11円(うち中間配当5円50銭)を予定しております。

1株あたりの配当

めぶきフィナンシャルグループ

	中間配当	期末配当	年間配当
平成29年度 ※予想	5.50円	5.50円	11.00円
平成28年度	5.50円	6.50円	12.00円

株主優待

お客さま・地域の復興と成長に貢献するとともに、「地元特産品」「観光」を贈呈対象商品とすることで、グループが目指す地域経済の活性化による成果を株主の皆さまに還元することを目的に実施します。

〈対象となる株主さま〉

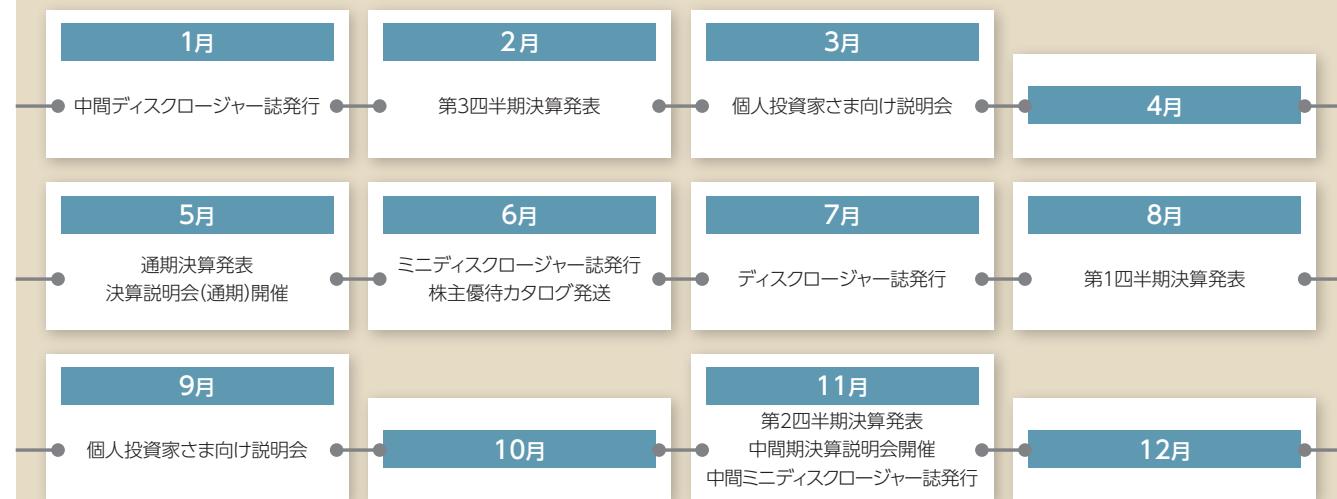
毎年3月末日時点の当社株主名簿に記載された1,000株以上をお持ちの株主さま。

保有株式数	特産品の金額目安	アイテム数
1,000株以上5,000株未満	2,500円相当	茨城県・栃木県の特産品を中心に488アイテム*
5,000株以上10,000株未満	4,000円相当	
10,000株以上	6,000円相当	

※各コースのアイテム数合計



IRカレンダー



■めぶきフィナンシャルグループ

資本金の状況		(平成29年3月31日現在)
資本金		1,174 (億円)
株式の状況		(平成29年3月31日現在)
株式数	発行可能株式総数	3,000,000 (千株)
	発行済株式の総数	1,179,055 (千株)
株主数		36,404 (名)

大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
野村フィナンシャル・パートナーズ株式会社	122,900	10.43
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	46,118	3.91
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	38,662	3.28
日本生命保険相互会社	34,487	2.92
株式会社三菱東京UFJ銀行	33,920	2.88
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	28,320	2.40
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	26,331	2.23
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	24,815	2.10
住友生命保険相互会社	21,659	1.83
第一生命保険株式会社	19,948	1.69

(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しています。
2. 持株比率は、自己株式(1,303千株)を控除して算出し、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

■めぶきフィナンシャルグループ

株式の概要	
証券コード	7167(東京証券取引所 市場第1部)
一単元の株式数	100株(証券市場での売買単位) ※常陽銀行株式の単元株式数は1,000株でしたが、めぶきフィナンシャルグループ株式の単元株式数は100株となりました。
定時株主総会	毎年6月に開催します。
配当金のお支払	期末配当及び中間配当を行う場合は取締役会の決議により配当金基準日の株主様にお支払いいたします。
基準日	定時株主総会:毎年3月31日 期末配当:毎年3月31日 中間配当:毎年9月30日
公告方法	電子公告といたします。 電子公告掲載URL: http://www.mebuki-fg.co.jp/ ただし、事故やその他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、茨城新聞及び下野新聞並びに日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
株式事務取扱場所	【郵送物送付先・お問い合わせ先】 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 ☎0120-232-711 (ホームページアドレス) http://www.tr.mufg.jp/daikou/

株式に関する各種手続き

	証券会社等の口座で株式を管理されている株主さま	特別口座で株式を管理されている株主さま、もしくは管理先が不明の株主さま
単元未満株式の買取・買増請求		三菱UFJ信託銀行株式会社
各種手続き(住所変更、配当金受取方法の変更等)	お取引のある証券会社等に直接お問い合わせください。	証券代行部 ☎0120-232-711

